

2020年度

## 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1492400237	事業の開始年月日	平成27年10月1日	
		指定年月日	平成27年10月1日	
法人名	株式会社学研ココファン			
事業所名	ココファンフォーム湘南の杜			
所在地	( 253-0004 ) 神奈川県茅ヶ崎市甘沼272			
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名	
	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	通い定員	名	
		宿泊定員	名	
		定員計	18	名
		ユニット数	2	ユニット
自己評価作成日	令和2年1月19日	評価結果 市町村受理日	令和3年7月12日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	<a href="http://www.rakuraku.or.jp/kaigonavi/">http://www.rakuraku.or.jp/kaigonavi/</a>
----------	---

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

新型コロナウイルス感染防止に明け暮れた2020年でしたが、湘南の杜では入居者様、スタッフとも感染することはなかったです。運営推進会議も1月のみの開催ではありましたが、その後は書面にて配布させていただき、いただいたお返事は労をねぎらうものばかりで、地域の皆様のあたたかなお気持ちに励まされる日々でした。一番驚いたのは、入居者様方がとても忍耐強く「戦争中に比べたら何のことはない」とおっしゃられたことでした。密を避け、楽しみが減少した中でもたくましくお過ごしになれる高齢者の皆様に、学ぶところが多い一年でした。

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鵜沼橋1-2-7 藤沢トーセイビル3階		
訪問調査日	令和3年3月12日	評価機関 評価決定日	令和3年6月29日

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

事業所は、JR「茅ヶ崎」駅北口よりバスで約9分、「八幡神社」下車徒歩2分で、県道に面した住宅地に立地しています。3階建てで、1・2階がグループホーム、3階はデイサービスとなっています。法人は、「すべての人が心ゆたかに生きることを願い、今日の感動・満足・安心と明日への夢・希望を提供します」という統一の理念に基づき、グループホームなどの介護施設をはじめ、高齢者向け住宅、教育サービス、子育て支援施設など全国で幅広く事業展開しています。

<優れている点>

事業所では、利用者、家族との懇談会のほか、母体法人の取り組みとリンクして、年2回、顧客満足度調査を実施しています。調査内容は8項目からなり、調査結果や意見は、介護計画の作成や接遇研修の充実などに反映できるよう担当者会議で検討しています。

<工夫点>

事業所では、文書の作成やスケジュール管理などの電子化を図るため、ICT（情報通信技術）を導入しています。職員は情報が集約された端末機器を活用して、業務の効率化、介護従事者の負担の軽減及び情報共有を推進し、利用者へのサービス向上に繋げるよう工夫しています。新型コロナウイルスの感染防止策として、利用者家族などとの懇談会をオンラインのZ o o mで開催するなどの取り組みも行っています。

### 【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	ココファンフォーム湘南の杜
ユニット名	1F

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	毎日の申し送り時に理念の唱和行い、共有をし、実践に繋がれるように努めています。	法人の理念と指針は玄関や事業所内に掲示し、利用者、来訪者や職員の目に留まるようにしています。職員は入職時をはじめ、定期的にベーシック研修、フォローアップ研修を受講するとともに「介護憲章10か条」を確認しながら日々のサービス向上に活かしています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	新型コロナウイルス感染防止の為、ボランティアや地域の方々との交流は持てませんでした。	地元の自治会に加入しています。コロナ禍以前これまでは、近隣の神社での祭りに出かけたり、ボランティアを招いて、ハンドベルやコーラスなどを楽しむ機会を設け、地域の交流を図ってきていましたが、中止と成っています。ホームページでの情報発信に努めています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	新型コロナウイルス感染防止の為、ボランティアや地域の方々との交流は持てませんでした。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	推進会議実施時に頂いたアドバイスやご意見等を参考に改善、サービス向上に努めています。	運営推進会議は隔月で開催し、家族代表、自治会々長、民生委員、地域包括支援センター職員、市役所職員、事業所職員が出席しています。利用状況を報告し、相互の質疑応答のほか、地域イベントへの参加などの検討をしています。議事録を配布し関係者と情報共有しています。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	連絡、報告などを実施しております。	市主催の指導講習会と相談員連絡会に参加し情報共有しています。事業所での課題は随時、市の所管課に相談し、アドバイスを受けています。通常であれば市の相談員が定期的に来訪し、利用者となじみの関係が持てるよう交流の場を設けています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束に関しては職員への周知を徹底するため委員会を開催し学習の場を設けています。玄関の施錠に関しては過去に何度かトラブルもあり事故防止も含めて施錠対応となっておりますが、今後検討していきたいと考えています。	職員に年間2回以上、身体拘束・虐待防止に関する研修会を実施しています。毎月、職員全員にアンケートを実施し、事業所内における虐待事案が発生していないか調査を行っています。また「高齢者虐待防止マニュアル」、「身体拘束ゼロの手引き」を作成し、日々の業務に活かしています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	毎朝の理念の唱和に加え、接遇向上・虐待防止を唱和しています。虐待の芽チェックシートを定期的に配布し回収して状況の改善に努めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	成年後見制度利用の人居者様が3名いるので、ミーティングのケアカンファレンスの中で学ぶ機会を作り共有しています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入所、契約時に重要事項説明、また入所後の不安点などを聞き取り説明、同意を得ています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	新型コロナウイルス感染防止の為、ご家族との交流は持てませんでした。	顧客満足度調査（CS調査）を年2回実施するとともに懇談会を開催しています。現在は手紙やオンライン会議を開催し対応しています。得られた課題は担当者会議で検討し、接遇研修や介護計画に反映しています。取り組み内容や進捗状況は職員、家族などと情報共有しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月1回のミーティング時に機会を設けています。また日常業務の中で感じたことを意見交換できるようにしています。	職員は月例ミーティングで事前に「気になること」を提出し、話し合っています。業務内容についての意見は、所長・管理者・リーダー・計画作成者で情報共有し、改善策を検討しています。職員の、苦手なことではなく、得意なことを活かし、サービス向上に繋がっています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	会社での賃金査定にあわせて個々のスキル、経験などを考慮しています。各自が向上心を持って就業できるように資格取得に向けた声掛けをしたり、研修への参加を促したりして、スキルアップに努めています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	施設内での勉強会の実施と、ZOOM会議での参加をしました。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	新型コロナウイルス感染防止の為、交流は持てませんでした。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	十分に時間をかけてご本人様がより過しやすいように環境を整備し、安心してお過ごしいただけるように信頼関係の構築に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	アセスメント時などご家族様、利用者様のおかれている状況を聞き取り、施設にて対応可能なご要望には対応できるように心がけ、関係づくりに努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	アセスメント時などに、ご家族様、利用者様のおかれている状況を聞き取り、最も必要としている対応に重点を置くように努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	高齢者が持つ知識(ことわざ等)や懐かしい歌を教えていただくなど、職員も利用者様から学ぶ機会を持ち、また利用者様同士が気持ちよく暮らせるような良い関係づくりに努めています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	様々な状況の家族関係にある入居者様とご家族の仲介も兼ねながら、お話を伺い、絆を大切にしながら良好な関係を築いていただけるように支援しています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	新型コロナウイルス感染防止の為、交流は持てませんでした。	利用者の人間関係、家庭環境、習慣や馴染みの場所などについては、入居前の自宅訪問や契約時の面談の際に把握しています。知人などの面会は事前に家族などに確認して行っています。家族と一緒に外食、美容院、墓参りなどに出かける利用者もいます。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	日常生活の家事手伝いやレクリエーションを通して利用者様同士が関わり合いを持ち、関係づくりができるように努めています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	新型コロナウイルス感染防止の為、交流は持てませんでした。お電話でお話をさせていただきました。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	個々の利用者様の希望などを把握し、ご本人の立場になって検討するように努めています。	利用者の意向は、リビングで寛いでいる時間などに職員が声掛けをしながら聞き取っています。聞き取った内容を朝礼で確認し、モニタリング実施表や介護日誌を活用して引き継ぎをしています。最近はICTを活用し、情報端末機器での情報共有も推進しています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	アセスメントからの情報だけでなく、リビングや入浴時などの会話の中から得られることを、ミーティングやケアカンファレンスで共有しています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	全員が把握できるようにミーティング時等に情報の共有に努めています。また居室担当者が毎月ご家族様に手紙を書くことで現状をお知らせしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	計画作成担当者を中心に毎月ミーティングまでに意見を集約し、計画作成に役立てています。	介護計画は作成担当者が、毎月のモニタリングを基に、利用者及び家族に意向・要望を聞き、医師、看護師、介護支援専門員、居室担当などと連携し作成しています。毎月のミーティングで利用者全員の状況を把握し、計画内容は家族の了解を得て実施しています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	記録によって情報を共有し、実践や介護計画に活かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	日々、変化してゆくニーズにも柔軟な対応を心がけています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	近隣の神社への外出機会を設けることしかできませんでした。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	基本的には月2回の訪問医診察を行なっています。個々の外部への診療に関しては適切に受診できるように支援しています。	協力医療機関の内科医が月2回往診で来訪し、全員を診察しています。内科医以外の専門医にかかっている入居者には、通常家族が付き添って受診しています。その際、家族から受診内容を聞き取り、申し送り職員全員が共有しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	看護師と連携、状態報告などを密に行い対応しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は面会ができず電話にて情報共有させていただきました。退院時には訪問医、看護師への情報提供をいただき状態の把握と回復への支援が適切に対応しています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	終末期などの事例に関しては、ご家族様の要望も汲み取り、訪問医と相談して対応しています。	終末期に際しては、家族、協力医、職員などで担当者会議を開き、方針を決定しています。ここで最期を迎えたいという人は多く、数人の看取りを行う年もあります。職員は法人の研修に参加しています。看取りに際しての具体的な内容を職員全員に周知しています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	職員個々で意識や対応に差があるので、必ず訪問医や看護師と連携して対応するように努めています。また服薬一覧表を作り、利用者様の現在の服薬状況を職員が把握して急変時に対応できるようにしています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	避難訓練は半年に1度行なっていますが、今後は地域の消防団などのご協力を得られるように取り組んでいきます。	避難訓練は年2回実施しています。通常利用者也訓練に参加していますが、今年度は新型コロナウイルス感染防止のため、声掛けのみとしています。夜間想定訓練は、夜勤者が勤務時間内に実施しています。災害時用の備蓄品は、数ヶ所に分散し保管しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	丁寧な言葉かけや失礼のないようなお声かけをするように、毎月自身の評価と他者の評価を行って接遇向上に努めています。	「接遇向上、虐待防止委員会」を開催し、職員の資質向上に努めています。職員に「虐待の芽チェックリスト」を配布し、セルフチェックして提出しています。法人主催の研修にも参加しています。個人情報、鍵付きのキャビネットに保管しています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	言葉が出にくくなったり、言葉の理解が難しくなった方にもジェスチャーやアイコンタクトを使って働きかけています。相手のサインを見逃さない様にスキルアップに努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	日々のひとり一人のペースをできるだけ大切にして支援するように努めています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	身だしなみを整えられない方には、職員の介助で失礼のないようにお手伝いさせていただいています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	テーブル拭きなどの準備、食器やお盆拭きなどの片づけなどできる方にはお手伝いをお願いしています。	業者からは毎日翌々日の食材が届き、届いた食材をスチーマーで温めて提供しています。炊飯は事業所で行っています。テーブル拭きなどの準備、食器の片付けなどは利用者も手伝っています。誕生日のケーキやおやつなどに入居者の希望を取り入れています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	水分量の1日のトータルをはかり食事量も含めて支援しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後の口腔ケアの実施と週一回の訪問歯科受診(個別契約)を行なっています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	個々の残存機能に応じた対応を実施しています。また個々の排泄パターンを理解し、定時での誘導を無理強いせず、拒絶がある場合は機会を改めるなどして配慮しています。	利用者が尿意、便意を感じたら、自分でトイレで排泄することを重視しています。リハビリパンツの交換も、できるだけ自分で行うように支援しています。オムツ対応だった人が、服薬とリハビリパンツの使用で、トイレで排泄できるようになった例もあります。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	排便の有無、個々に応じた対応をしています。また言葉でうまく伝えられない利用者の排便の訴えを、しぐさや表情等で感じ取り、声かけしていくように努めて便秘の予防に努めています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	タンクの水量の関係で、タイムスケジュールに沿った時間内に入浴をしていただいています。ひとり一人の希望やタイミングも考慮し、特に便失禁後は衛生面と感染予防のため入浴していただくように努めています。	入浴は週2日、曜日を決めています。できる限り気の向いた時に入れるよう支援しています。1人入るごとに湯を入れ替え、椅子に掛けるバスタオル、足ふきマットも交換しています。入浴困難な人には、シャワー浴や清拭で清潔を保つように努めています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	お昼寝・夜間とも状況に応じて安眠できるように努めています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	医師・看護師と連携し服薬、管理に努めています。また介護スタッフが把握しやすいように、毎月2回の医師の受診後は服薬一覧表を更新し、追加変更や中止については申し送りを徹底し、症状の変化に注意するよう努めています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	お手伝いが好きな方には洗濯物やキッチンで、テレビ好きな方にはテレビの前で、植木好きな方には水やりで、カラオケ好きな方にはレクや夜の時間で、それぞれの利用者様が張り合いや楽しみを感じ気分転換できるように努めています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	新型コロナウイルス感染防止の為、外出の機会は持てませんでした。	コロナ以前はレクリエーションなど、多くの外出の機会がありましたが、現在遠出は見合わせ、近所の神社などへ職員が同行して散歩に出かけています。廊下を散歩道に見立ててウォーキングをしたり、玄関先に椅子を並べて外気浴を行うなど、外出に代わる工夫をしています。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	金銭管理に関しては法人内での事情もありトラブル防止の為、施設で管理しており、利用者様の個人での所持はしない様にご家族様にもご説明、理解を得ています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご希望がある利用者様に対しては連絡やご家族に確認をとり対応しています。またご家族から直接話したいと電話があったり、郵送で届いたプレゼントにお礼状を書いたりする場合は、できるだけご本人が対応できるように努めています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	衛生管理も含め居心地のよい空間づくりに努めています。四季を感じられるように利用者様と一緒に壁飾りやリビングの飾りを作成したり、レクでの習字や塗り絵等作品を掲示したり、行事の写真を掲示したりして、日々の生活を思い起こし充実感を感じられるように努めています。	リビングは、起床時から就寝時までの間、利用者がテレビを見たり、湯茶を飲んだり、食事、体操、レクリエーションと多方面に活用しています。清潔で、居心地のよい共有空間とするために、職員は一日を通して随時、清掃を行い、入居者はリビングのテーブル拭きなどを手伝っています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	リビングは食事の席が決まっていますが、食事以外の時間帯は自由に移動したり、集まったりしてお過ごしいただいています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	ご家族様のご要望も聞きながら安全に留意し個々に合わせた居室環境となっています。	居室はベッド、タンス、カーテン、エアコンなどが備え付けで、利用者は衣類、寝具、日用品などを持ち込んでいます。居室担当者は衣替えの案内、不用品や必需品などについて、手紙で家族と連絡をしています。居室の清掃を自分で行っている入居者もいます。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	トイレの表示を文字だけでなく絵にしたり、食事テーブルと椅子には記名シールを貼り、衣類には名前を明記し、タンスの引き出しには仕分けシールを貼ったりして、できるだけわかりやすく自立した生活が送れるように支援しています。		

事業所名	ココファンフォーム湘南の杜
ユニット名	2F

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

外部評価	項目	自己評価		外部評価	
		実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	毎日の申し送り時に理念の共有をし、実践に繋がれるように努めています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域の趣味のサークル等へのボランティアの依頼や発表の場としての提供をしています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	ボランティアの受け入れ時に、認知症の方々の余暇の楽しみ方や接し方を理解していただき、地域での高齢者とのかわりに役立てていただいています。また見学者等来訪者の困りごとを傾聴し、アドバイスができるように心がけています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	推進会議実施時に頂いたアドバイスやご意見等を参考に改善、サービス向上に努めています。また行事の案内をチラシ等で行ない、地域の方々の参加も募っています。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	連絡、報告などを実施しております。昨年は虐待疑義が発生し報告しました。虐待ではなく突発的な不適切ケアとしてご指導いただきました。また相談員の方々との連携を図り、認知症や施設介護の理解を得て、協力関係を築いています。		

	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束に関しては職員への周知を徹底するため委員会を開催し学習の場を設けています。玄関の施錠に関しては過去に何度かトラブルもあり事故防止も含めて施錠対応となっております、今後検討していきたいと考えています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	毎朝の理念の唱和に加え、接遇向上・虐待防止を唱和しています。虐待の芽チェックシートを定期的に配布し回収して状況の改善に努めています。研修はミーティングとは別の日程で時間をかけて行なっています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	成年後見制度利用の入居者様が3名いるので、ミーティングのケアカンファレンスの中で学ぶ機会を作り共有しています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入所、契約時に重要事項説明、また入所後の不安点などを聞き取り説明、同意を得ています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご家族様へは運営推進会議への参加協力を呼びかけ毎回、違うご家族様へご参加頂きご意見、ご要望を頂いています。		

外部評価	項目	自己評価	外部評価		
		実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月1回のミーティング時に機会を設けています。また日常業務の中で感じたことを意見交換できるようにしています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	会社での賃金査定にあわせて個々のスキル、経験などを考慮しています。各自が向上心を持って就業できるように資格取得に向けた声掛けをしたり、研修への参加を促したりして、スキルアップに努めています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	施設内での勉強会の実施、本部での研修への参加を行っています。職員が積極的に外部研修に行かれるように資料の共有をし参加機会を提供していきます。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	スタッフ不足のためなかなか相互訪問の日程がとれない現状です。職員からの希望が出ているのでいずれ機会を設けたいと考えています。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	十分に時間をかけてご本人様がより過しやすいように環境を整備し、安心してお過ごしいただけるように信頼関係の構築に努めています。		

外部評価	項目	自己評価	外部評価	
		実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16	○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	アセスメント時などご家族様、利用者様のおかれている状況を聞き取り、施設にて対応可能なご要望には対応できるように心がけ、関係づくりに努めています。		
17	○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	アセスメント時などに、ご家族様、利用者様のおかれている状況を聞き取り、最も必要としている対応に重点を置くように努めています。		
18	○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	職員は利用者様一人ひとりとの状況を把握した上で、関わりを持ち信頼関係に努めています。共同生活で利用者同士が気持ちよく暮らせるようにトラブルなどは未然に防ぎ良い関係づくりに努めています。		
19	○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	様々な状況の家族関係にある入居者様とご家族の仲介も兼ねながら、お話を伺い、絆を大切にしながら良好な関係を築いていただけるように支援しています。		
20	8 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご家族様やご親戚だけでなく、ご友人も気楽に訪ねていただけるように、馴染みの関係が途切れないように努めています。		

外部評価	項目	自己評価	外部評価	
		実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	日常生活の家事手伝いやレクリエーションを通して利用者様同士が関わり合いを持ち、関係づくりができるように努めています。		
22	○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	転居された方がご逝去されたらと連絡をいただいたり、看取り対応をさせていただいたご家族が時折訪ねて来られたりしています。なじみの職員が多いため話しやすいのか懐かしく思っています。		
<b>III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
23	9 ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	個々の利用者様の希望などを把握し、ご本人の立場になって検討するように努めています。		
24	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	アセスメントからの情報だけでなく、リビングや入浴時などの会話の中から得られることを、ミーティングやケアカンファレンスで共有しています。		
25	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	全員が把握できるようにミーティング時等に情報の共有に努めています。また居室担当者が毎月ご家族様に手紙を書くことで現状をお知らせしています。		

	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	計画作成担当者を中心に毎月ミーティングまでに意見を集約し、計画作成に役立てています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	記録によって情報を共有し、実践や介護計画に活かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	日々、変化してゆくニーズにも柔軟な対応を心がけています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	施設周辺の散歩で季節の変化を楽しんで頂いたり、地域のボランティアの受け入れる事で、利用者様とのふれあいの場を設け、豊かな暮らしを楽しむ事が出来るように努めています。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	基本的には月2回の訪問医診察を行なっています。個々の外部への診療に関しては適切に受診できるように支援しています。		

外部評価	項目	自己評価	外部評価	
		実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31	○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	看護師と連携、状態報告などを密に行い対応しています。		
32	○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は定期的に面会しご家族や病院関係者と情報交換をしています。退院時には訪問医、看護師への情報提供をしていただき状態の把握と回復への支援が適切にできるように対応しています。		
33	12 ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	終末期などの事例に関しては、ご家族様の要望も汲み取り、訪問医と相談して対応しています。		
34	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	職員個々で意識や対応に差があるので、必ず訪問医や看護師と連携して対応するように努めています。また服薬一覧表を作り、利用者様の現在の服薬状況を職員が把握して急変時に対応できるようにしています。		
35	13 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	避難訓練は半年に1度行なっていますが、今後は地域の消防団などのご協力を得られるように取り組んでいきます。		

外部評価	項目	自己評価	外部評価		
		実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
<b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	丁寧な言葉かけや失礼のないようなお声かけをするように、毎月自身の評価と他者の評価を行って接遇向上に努めています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	言葉が出にくくなったり、言葉の理解が難しくなった方にもジェスチャーやアイコンタクトを使って働きかけています。相手のサインを見逃さない様にスキルアップに努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	日々のひとり一人のペースをできるだけ大切にして支援するように努めています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	身だしなみを整えられない方には、職員の介助で失礼のないようにお手伝いさせていただきます。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	お手伝いが可能な方には、盛り付けをお願いしています。メニューを説明して、音楽をかけ、楽しい時間づくりに努めています。		

外部評価	項目	自己評価	外部評価	
		実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	水分量の1日のトータルをはかり食事量も含めて支援しています。利用者様の状況により水分摂取量が少ない方、摂取困難な方にはゼリー等を提供しています。利用者様一人ひとりの嚥下、咀嚼に対応し、食事形態、栄養摂取に努めています。		
42	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後の口腔ケアの実施と週一回の訪問歯科受診(個別契約)を行なっています。		
43	16 ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	個々の残存機能に応じた対応を実施しています。また個々の排泄パターンを理解し、定時での誘導を無理強いせず、拒絶がある場合は機会を改めるなどして配慮しています。		
44	○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	排便の有無、個々に応じた対応をしています。体操、歩行運動、飲み物の工夫を行い、便秘の予防に取り組んでいます。運動が出来ない利用者様には腹部のマッサージや飲み物の工夫で便秘予防に努めています。		
45	17 ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	タンクの水量の関係で、タイムスケジュールに沿った時間内に入浴をしていただいています。ひとり一人の希望やタイミングも考慮し、特に便失禁後は衛生面と感染予防のため入浴していただくように努めています。		

外部評価	項目	自己評価	外部評価	
		実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	お昼寝・夜間とも状況に応じて安眠できるように努めています。		
47	○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	医師・看護師と連携し服薬、管理に努めています。また介護スタッフが把握しやすいように、毎月2回の医師の受診後は服薬一覧表を更新し、追加変更や中止については申し送りを徹底し、症状の変化に注意するよう努めています。		
48	○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	そのように努めています。レクの時間では、トランプや歌などを歌い歌謡曲のDVDの鑑賞、相撲番組やテレビ等の楽しみを感じ気分転換できるように努めています。		
49	18 ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	外出は周辺の散歩、車での外出レクレーションでコーヒーショップでコーヒー、ケーキセットを召し上がったたり、季節の催し物にでかけています。ご家族の協力で外食や買い物、美容院に出かける方もいます。		
50	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	金銭管理に関しては法人内での事情もありトラブル防止の為、施設で管理しており、利用者様の個人での所持はしない様にご家族様にもご説明、理解を得ています。		

	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご希望がある利用者様に対しては連絡やご家族に確認をとり対応しています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	衛生管理も含め対応していますトイレや浴室には利用者様が混乱を招かないように判りやすく大きくイラストや文字で表示しています。季節の行事等を行った写真を掲示して日々の生活を思い起こして充実感を感じられる工夫に努めています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	リビングにてくつろげるスペースを提供しています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	ご家族様のご要望も聞きながら安全に留意し個々に合わせた居室環境となっています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	トイレの表示を文字だけでなく絵にしたり、食事テーブルと椅子には記名シールを貼り、衣類には名前を明記し、タンスの引き出しには仕分けシールを貼ったりして、できるだけわかりやすく自立した生活が送れるように支援しています。		

2020年度

## 目標達成計画

事業所名 ココファンホーム湘南の杜

作成日： 2021 年 7 月 11 日

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	感染症蔓延防止対策のため、家族や外部の方との交流の機会が充分に取れていない。	感染症対策を徹底することにより、家族や外部サービスの方との交流が図れる環境を整備する。	緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の発令に合わせた対応の検討。面会制限の緩和や検温器など導入を行い、客観的視点から適切な対策の継続と交流の機会を設けていく。	6ヶ月
2	19	防災計画に位置付けている防災訓練の実施時期が遅延してしまっている。	防災計画に基づいた訓練の実施が出来る。	密を避けるため、事業所内参加型の訓練の実施時期が遅延してしまっ。7月に総合訓練の実施する。以後計画に基づく訓練の実施を行う。	12ヶ月
3	35	新型コロナウイルス感染防止の為、2か月に1度の運営推進会議を招集して開催できていない。	事業運営に対し、直接ご意見を伺える環境を提供し、意見を取り入れた方針の策定や事業運営を行うことが出来る。	当面は書面で交流を図っていくことを継続的に行う。情勢を鑑みながら対面式の運営推進会議の実施を検討していく。	12ヶ月
4					
5					